

な か ま

発行
佐倉市立中央公民館
編集
なかま編集委員会
〒285-0025
佐倉市鎗木町 198-3
電話 (043) 485-1801

墓前の校歌----- 篠塚 勝夫 富士の三姉妹----- 大川 義郎
コーラスと私----- 岡野 哲 木曾路を歩く----- 神林 俊子

孫娘の成長

田中 豊作

昔、陸の孤島と言われた浦安市から、佐倉市井野に越してきました。

かれこれ30数年が経ちます。今年の5月17日、佐倉市民カレッジに入学し、佐倉市の歴史を学ぶ機会がありました。驚いたことに、今、住んでいる井野小学校周辺は、縄文時代の井野長割遺跡(3000〜4000年前)の集落であることを知りました。

越して来た時は全く知りませんでした。このたび佐倉市民カレッジで学び、歴史、自然、文化の香り高い佐倉市に越してきて、今は光栄に思っています。長女は志津中学校に、次女は井野小学校に入学してから30数年経ちます。長女は我孫子に嫁ぎ3人の子供を育てています。次女は近くの南ユーカーが丘に住んでいます。我孫子の孫は3人

ともみんな子供の頃から野球に熱中し、特に孫娘の次女は小学6年生で、布佐ジャイアンツで活躍し、その後オール船橋レディースの一員として千葉県の代表となりました。

3月に全国大会で、愛知県と戦い惜しくも準優勝でした。その後、千葉県菜の花ガールズの、セレクションに合格しました。

3月25日〜4月3日までの10日間、国際親善交流大会に参加し、メルボルンに、ホームステイしながら、全10試合に出場し、オールジャパンの代表として活躍してきました。

今年、中学生になりました。男子生徒を相手に今も投げて、打って白球を追う姿に、孫娘ながら感動しています。

もしもの話ですが、2020年、東京オリンピックに軟

式野球が正式に認められれば、是非代表に選ばれて欲しいものだと、心待ちにしているものの、その前に高校生になって、甲子園に憧れても女子は出場できません。せめてユニホームに袖を通して、裏方で頑張るのも又よしとし、何事にも挑戦して欲しいと、エールを送っています。

気が付けば、私は古希を過ぎ、地域のボランティア活動に参加して、旬の魚を使い、新しいメニューを創作しては、お客様と語らい「美味しいね」と言われる言葉に、最大の喜びと生きがいを見出しているところです。孫娘に負けない為に、日々挑戦している。「キラリ人生今が旬の私です」

(編集委員)



墓前の校歌

学生時代の同窓会が復活し、十年余り続いている。近郊の温泉で一泊するのが通例だが、今年九州に向った。

七年前、クラスの誰からも親しまれていた級友が亡くなった。彼は入学時から出身地の市長を目指すと言たま言していた。卒業後二年目で偶々彼の住む都市に転勤になり、三年間身近で交流した。政治家としての地盤がある訳でもなく、資金も至って不如意。ただただ夢と希望と情熱を抛り所に地道な草の根活動を続け、将来の市長を目指す姿があった。卒業後六年目に市議員に初当選。その後県議も経験し、四十九歳で念願の長崎市長に就任した。その伊藤一長君が市長四選を目前にして銃弾に倒れた。

あれから七年。銃撃された四月十七日当日に九人の級友で長崎を訪れた。学生時代か

らの彼の悲願であった「出島復元」の充実ぶりを見学し、着想の良さに改めて感銘を受けた。その後、眼下に角力灘を望む高台にある墓所に詣で、焼香し献杯し、そして夫人を交え母校の校歌を高吟した。黒御影の墓石には彼の温顔な遺影と座右銘「初心生涯」が刻まれている。五十年近く歌い馴染んできた『都の西北』だが、この日は遺影の一長君もともに肩を組み謳い上げたような気がした。翌日の地元紙は銃撃現場に設けられた献花台に多くの市民が訪れたと報じた。「初心生涯」を貫いた彼の生き様は、復元し続ける出島の姿などとともになお多くの長崎市民の心に強く生き続けていることを再確認する旅となった。

(王子台 篠塚 勝夫)

富士の三姉妹

富士山が世界遺産に登録された。その富士山に三姉妹がいることをご存じでしょうか。伊豆に生まれた私は、この富士の三姉妹の話聞いて育った。

東京から特急電車で2時間半、伊豆急線「伊豆急下田」に到着する。伊豆下田は、開国の港で知られている。1853年(嘉永六年)ペリー来航・日米和親条約により開国し、2年後米国総領事ハリスがこの地を踏み、その後日米通商条約が結ばれている。今は観光の町、漁港基地そして避難港である。

電車が駅に到着する直前に下田の歴史案内と左手の山・寝姿山が紹介されるが、右手の尖った山は紹介はされない。これが下田富士である。標高2000以上の山で全体が木々で覆われ、ところどころに岩肌をのぞかせている。この下

田富士と、駿河の富士山、伊豆七島の八丈島の八丈富士は三姉妹と言われている。下田富士が姉で一番末が八丈富士という。

駿河の富士山は器量よし、下田富士は容姿が良くなく誰も見向きもしてくれないので、ねたみうらやんで「駿河の妹の顔はけっして見まい」とすねて天城山という屏風を立てた。気立ての優しい富士山は、姉の下田富士のことを朝夕心配しながら伸びあがるのでだんだん背があのように高くなってしまったという。この2人の姉さんのいさかいを悲しみながら見る八丈富士は「仲良くしますように！」はるか海の向こうから祈り続けるといふものだ。

帰省したときは、しばしこのおはなし(伝説)を思い出す。伊豆下田に訪れた際は、世界遺産の姉「下田富士」を是非眺めてもらいたいものだ。

(藤治台 大川 義郎)

コーラスと私

私がコーラスを始めて、まもなく2年。今やベテランのコーラス部員気取りだ。

コーラスを始めたのはなぜか？ 思い返してみた。小学校4年生頃に音楽の授業で先生に褒められた。以来自分は歌がうまいとうぬぼれた。サラリーマン時代、札幌すすきの野の飲み屋で「流しをしていた頃の細川たかし」みたいだとおだてられた。が、カラオケで点数が出るようになると自分より高得点を取る奴がいることに愕然。歌わなければ声が出なくなり、音域も狭くなりカラオケからも足が遠くくようになった。

佐倉市民カレッジに入学して「カレッジコーラス」を知る。市民音楽ホール合唱祭に行き、ご高齢の方が杖をつきながら美しいハーモニーを奏でているのを聞いて何とすごいと感動。その後市民ハイ

キングでコーラスのY代表から道々お話を伺い、やってみるかと思入団した。

初めは楽譜もチンプンカンプン、音も分からず。これではまずいと楽譜の読み方の本を買った。安いキーボードも買った。お仲間の85歳のT氏の音の正確なことに恐れ入った。練習日はいつも体操と、喉を開き腹筋を使った声出しの練習を繰り返す。最初のうちには翌日筋肉痛。繰り返すうちに、姿勢がよくなり音域も広がる。先輩諸氏から歌以外のこともいろいろ教わる。練習時は、指揮者TA氏の冗談で和やかに楽しい気持ちで歌う。気持ち軽やかだと声もよく出る。うまくハモると何とも気持ちがいい。

年末に私は佐倉の「第九」に出る（12月14日（日）午後2時 佐倉市民音楽ホール）。新たな仲間と素晴らしいハーモニーを奏でよう！

（王子台 岡野 哲）

木曾路を歩く

久しぶりに5月の早朝、JR「あずさ」で松本へ。都心を過ぎ田んぼの景色からやがて美しい新緑の山々が列車の窓から大きなスクリーンに映し出される。67の宿場がある中山道のうち馬籠から妻籠まで歩いた。篠ノ井線に乗り換え、中津川で下車し、駅前からマイクロボスにのる。10人程の乗客がいたがリュックと靴を装備した外国人ばかりだ。

途中棚田の細い坂道を上手な運転で縫うように走り、木々が窓にぶつかりそうになる毎に喚声をあげていた。

30分程で到着。とろろ蕎麦で腹ごしらえをして、案内板の脇から歩き始めた。両側の食事処、お土産店、民宿、お菓子処などを覗きながら細い石畳の階段を上っていった。店の周りはアジア系の観光客でいっぱいだった。店が途切れた頃日差しも強くなり高台

からは恵那の山並みが眼下に中津川の街並みがきれいにみえる。ここを過ぎると人のいない木々の間を上る厳しい行程。あちこちに「熊出没」の注意書きに鐘が添えられており、その都度叩きながら進んだ。林道をぬけると民家もなく畑があちこちに点在している。余りの静けさの中一服していた老人に遭遇し、悲鳴をあげるほど驚いた。決まり悪く「こんにちは！」と頭を下げた。途中には竹の筒から豊富な冷たい水が流れていた。

暫くすると峠の頂（801m）に到達。ここから下りに入り、又林道が続く、休憩所でお茶を頂き、そこを管理している方に今日は四十数名通ったが日本人はあなた方が初めてですと伺いビックリしました。参勤交代のときや、皇女和宮様のお輿入れの行列が大変だったとか当時の様子に思いをはせた日になりました。

（稲荷台 神林 俊子）

11月の黒板

『なかま』の原稿を募集しています！

『なかま』の2ページと3ページは佐倉市民の皆さんから投稿いた

だいた記事を掲載しております。

『なかま』の原稿は、自由テーマを原則としています。「出会いと別れ」、「旅の思い出」、「祭り」、「私のふるさと」、「私の健康法」など何でも構いません。また、日常での出来事で発見したこと、気付いたこと、経験や感想などもご随意にお書きください。

原稿の字数は、650字（13字×50行）以内です。また、掲載するにあたり常用漢字への変更や、句読点等の修正をさせていただくことがあります。

問い合わせ先

佐倉市立中央公民館 TEL043-485-1801

〒285-0025 佐倉市鏑木町198-3

URL http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/16-1-0-0-0_1.html

さくら道

ある夜、薄暗がりの台所で爆睡していた猫をふんづけてしまった。「ギヤー！」という猫の鳴き声と同時に左足に鋭い爪が突き刺さったのを感じ、思わず上げた足に猫がぶら下がった。何とか爪をはずすと猫は一目散に転がるように逃げて行った。つい数日前、友人が飼猫に手を引つ掻かれ、医者に「手首から切断かも。」と脅かされたという話が頭を

よぎった。

不安な一夜を明かし翌日病院へ行った。抗生物質を処方してもらい、おかげで四・五日で腫れもひき切断は免れた。『猫ふんじやった』の歌は小さい頃ピアノをひきながらよく歌った。『さくら道』の歌はちやたらひっかいたさくら猫びつくりしてひっかいたさくらと本当に歌の通りだった。作詞者の阪田寛夫氏も猫をふんづけたことがあったのかも。

(林 千恵子)

あながき

佐倉市に住んで17年、今年市民カレッジに入学しました。私より一回り以上も若い皆さんに少々気後れもありました。一学年の学習予定表のテーマを拝見し、期待と楽しみが増します。佐倉市の概要を具体的に知る機会を得、佐倉の歴史にはじまり、輩出された多くの方々、一方現在人口17万市民の町づくりに多岐にわたり活躍している先輩に教

えを請い、学ばせていただくことに喜びを感じています。昨今、新聞紙面に連日のように掲載される憲法論、戦争をしない、と記載されている憲法第九条に注目した一主婦の記事、「憲法9条にノーベル平和賞を」を拝見しました。日本の平和が続いた来し方70年に感謝し、行く末も平和が続くことを願い、世界平和の一石になるよう祈ります。

(松田 安子)